

「伝えましょう」ゲーム

目的

トランスポート層のプロトコルおよびサービスがデータ ネットワーク全域での通信をどのようにサポートするかを説明する。

受講者は、ある状況の中で、データ通信の配信方式として高速通信または低速通信のどちらを使用するべきかを決定します。

背景/シナリオ

注:この課題は、各グループ 6 ～ 8 人の受講生で取り組んでください。

この章では、トランスポート層のプロトコルおよびサービスがネットワーク データ通信をどのようにサポートするかを理解します。

インストラクタが、グループの受講生の 1 人に対して、少々複雑なメッセージを小声で伝えます。たとえば、「今度の火曜日、2 月 5 日の午後 2 時に、部屋 1151 で 最終試験を行います。」と伝えます。

このメッセージを聞いた受講者は、グループ内の隣の受講者に同じように伝えます。これを繰り返して、各グループのメンバー全員にメッセージを伝えます。ここでは次のルールに従ってください。

- 隣の受講者にメッセージを伝えるのは 1 回だけです。
- メッセージは隣の受講者から隣の受講者へと順番に伝えてください。途中で受講者を飛ばしてはなりません。インストラクタは、いずれかの受講者に、メッセージを最初の参加者から最後の参加者まで伝えるのにかかった合計時間を計測させます。この時間計測は、最初または最後の参加者が行うのが最も良いでしょう。
- 最後の受講者は、自分が聞いたとおりのメッセージを声に出して言います。

そこでインストラクタは、元のメッセージを再び示し、グループの最後の受講者が口にしたメッセージと比較します。

実習に必要なリソースや機器

- タイマー（メッセージの伝達時間を記録する受講者用）

復習

1. このメッセージに従って、スケジュールを調査し、個人またはビジネスの予定を決めたりするとしたら、メッセージを受信したときに、その内容が完全に正しい必要があるでしょうか。

2. メッセージの配信に要した時間の長さは、送信者および受信者にとって重要な要因でしょうか。
